



Information_4



嘔吐・下痢のおはなし

嘔吐や下痢は、日常で最もよく見かける症状の一つです。その原因は実に数十種類にもおよびます。

嘔吐の主な原因

胃や腸の問題	過食、誤食、ストレス、中毒、ウイルス・細菌感染、胃捻転、食物アレルギー、炎症、潰瘍、腫瘍など
胃や腸以外の問題	腎臓病、肝・胆道系疾患、膵炎、腫瘍、腹膜炎、横隔膜ヘルニア、子宮蓄膿症など
その他	尿毒症、アジソン病、髄膜炎、前庭疾患、てんかんなど

下痢の主な原因



急性の下痢	全身症状なし	食事、食あたり、寄生虫、薬の副作用、大腸炎など
	全身症状あり	細菌・ウイルス感染、胃腸炎、急性膵炎など
慢性の下痢	アレルギー、内分泌疾患、腫瘍、腸重積、猫伝染性腹膜炎、胆・肝道系疾患など	

as 2013年9月号より

対処について

嘔吐や下痢が一時的なもので、症状が他になければ様子を見てもよいでしょう。吐いた後は胃腸を休めるため5～6時間は絶食絶水します。空腹時に黄色い液を吐いた時は、逆に食事を与えて対処します。

嘔吐や下痢を繰り返し、元気や食欲が無いなどいくつか症状が重なる場合や、**幼齢・高齢の動物は早めに病院へ行きましょう。**

受診時のポイント

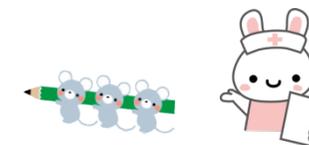
的確な診断や治療のためには、飼い主さんからの情報が重要です。

嘔吐

- 吐く前の状況
- 吐くタイミング
- 回数
- 吐いた物の内容
(色・におい・消化か未消化か)
- 症状はいつからか
- 吐き気だけか
- 嘔吐以外の症状の有無

下痢

- 便の状態(硬さ・色・におい)
- 回数
- 下痢以外の症状の有無
- 症状はいつからか



スタッフより

嘔吐や下痢の原因は、生理的なものから命に関わるものまで実に様々です。いつも一緒にいるからこそ気付いてあげられる“いつもと違う”。動物さんたちからのシグナルを上手に汲み取ってあげられるといいですね。